

地方独立行政法人長野県立病院機構第3期中期目標の素案へいただいたご意見と県の考え方

番号	素案	ご意見	考え方
1	<p>第2 1(1) 地域医療の提供 ア 地域医療</p>	<p>●県立木曽病院について 現在さまざまな手術において、術前、術後の口腔ケアはもはや常識であり、口腔ケアの有無により術後合併症の発生率減少やそれに伴う入院日数の短縮、術後のQOLの向上など、術後成績に大きく影響することは周知の事実である。 しかしながら、長野県立木曽病院に於いては、県内の地域がん診療連携拠点病院および地域がん診療病院の中で、唯一歯科口腔外科がまだ開設されていないため、同病院で手術を受ける患者さんはその恩恵にあずかれない。これは、同じ県内に居住しながら受ける医療に格差が生ずることとなり、公平性を欠く事となっている。また、入院日数の延長、術後合併症による非効率性から、病院経営にも悪影響をもたらしている。また、一般開業歯科医院で口腔内に異常を発見した場合、今のところ近隣の口腔外科は松本、塩尻、あるいは伊那にしかなく、紹介患者さんには大変な負担をかけている。特に、木曽地域は高齢化が進んでおり、そのような方々に遠方まで足を運んでもらわなければならない事態は一刻も早く解消すべきである。 以上の理由から、木曽地域に唯一の総合病院で、地域がん診療病院である長野県立木曽病院は、地域住民のために早急に歯科口腔外科を開設し、常勤の歯科医師(口腔外科医)、ならびに、歯科衛生士を確保すべきである。</p>	<p>○地域医療の提供については、地域の医療需要を見極めた医療の提供を目標に記載しています。 第2 1(1) 地域医療の提供 ア 地域医療 各病院は地域の医療需要を見極め、診療体制を整備して医療を提供すること。</p>
2	<p>第2 2(2)地域包括ケアシステムの推進 2(3) 地域の保健・福祉関係機関等との連携の推進</p>	<p>●県立こども病院について 県立こども病院と各圏域の医療体制や福祉関係機関との連携推進にご尽力いただき感謝申し上げます。 しかしながら、医療体制並びに福祉サービスの基盤整備を推進する中では、医療的ケア児の支援体制整備は長年の大きな課題として検討を進める中でも、突然にして資源が出来上がるわけではない事から、各圏域の整備状況に合わせた県立病院としての機能について、協議会などを活用しながら実態把握に努めて頂きたいと思えます。県立病院としての推進方針と各圏域が一体的に推進して行けることが理想ですが、体制が整わない地域においては、これまでの機能が低下してしまう恐れがあると感ずります。レスパイト入院が一律に無くなり、評価入院という体制に整理されたことでの各圏域の課題等を是非把握して頂くようお願い申し上げます。</p>	<p>○いただいたご意見を念頭に、今後も施策に取り組みさせていただきます。</p>
3	<p>第2 1(1) 地域医療の提供 ア 地域医療 第5 3 施設整備及び医療機器に関する事項</p>	<p>●県立木曽病院について 木曽は広く、富士見→諏訪→塩尻→東筑位の距離に当る広大さで、木曽福島から信大病院・伊那中央病院へと通うに時間がかかり、その交通費に苦しむ人も居ます。 又地域の開業医も高齢化が進み、数も減少しています。地域の診療所も休診が多くなっています。今後益々全国より先に高齢化・少子化が進む地域であろうと思えます。 この広い地域の中の唯一の木曽病院の役割の大きさを想わざるを得ません。 木曽病院の充実が無ければ地域の過疎化は更に加速されと考えられます。 木曽病院頼りの住民には病院の充実を何よりも切実に願うものです。 木曽病院に循環器、脳神経外科、精神科等の医療の充実のため医師の配置が必要です。又医師の高齢化対策をとってほしい。 ・こうした地域は全国的にも多いのではないのでしょうか。そのモデルになるような病院としてほしい。 ・医師の増員はもちろんですが、3か月位で他の病院と交代なども考えられましょう。 ・施設の老朽化にも配慮してほしい。</p>	<p>○地域医療の提供については、地域の医療需要を見極めた医療の提供を目標に記載しています。 第2 1(1) 地域医療の提供 ア 地域医療 各病院は地域の医療需要を見極め、診療体制を整備して医療を提供すること。 ○木曽地域の診療所を支える体制構築については、目標に記載しています。 第2 1(1) 地域医療の提供 イ へき地医療 阿南病院及び木曽病院は、へき地医療拠点病院として救急医療体制を維持するとともに、へき地における住民の医療を確保するため、無医地区への巡回診療や、医師不足に悩むへき地診療所を支援すること。 ○施設の老朽化については、施設等の整備を効果的に行うよう目標に記載しています。 第5 2施設整備及び医療機器に関する事項 地域の医療ニーズや費用対効果などを総合的に勘案した中長期的な投資計画のもと、施設と医療機器の整備を効果的に行うこと。</p>